

測設をおこないます。

測設で対応している測量機は“TS”と“GNSS”です。

GNSSについては【GNSS】の【測設】を参照してください。

8-1 器械と接続する

FIELD-POCKETと、観測で使用する器械（TS）を接続します。

器械は電源を入れ、接続可能な状態にしておいてください。

ここでは、「DX-200i（Bluetooth）の場合」で説明します。

- ① ホーム画面の【測設】をタップします。



- ② 測設画面の【接続】をタップします。



- ③ 【メーカー】や【機種名】などを設定します。



- ④ 【接続】をタップします。

以降の手順は

【電子野帳】の【接続】と同様です。

詳しくは「電子野帳」の「器械と接続する」を参照してください。

8-2 既知点上に器械を設置する

既知点上に器械を据えて後視点を観測し、器械を設置します。

■ 器械点、後視点を選択します

- ① 測設画面の [器械設置] をタップします。



- ② 器械設置画面の [既知点] をタップします。



以降の手順は

[現況観測] の [器械設置] の [既知点] と同様です。
詳しくは「現況観測」の「既知点上に器械を設置する」を参照してください。

8-3 任意点に器械を設置する（後方交会法）

任意点上に器械を据えて後視点を2点以上測距し、後方交会法で器械を設置します。

■後視点（1点目）を選択します

- ① 測設画面の【器械設置】をタップします。



- ② 器械設置画面の
【後方交会】をタップします。



以降の手順は

【現況観測】の【器械設置】の【後方交会】と同様です。

詳しくは「現況観測」の「任意点に器械を設置する（後方交会法）」を参照してください。

8-4 座標点を測設する

座標点にプリズムを誘導して、杭打ちをおこないます。

■ 設置する座標点を選択します

- 1 ホーム画面の【測設】をタップします。



- 2 測設画面の【測設】の【座標】をタップします。



- 3 【座標】をタップして、設置する座標点をタップします。



■ プリズムをロックします（自動追尾の場合）

- ① [リモコン] をタップします。



- ② リモコンで器械をプリズムの方向に向けてから
[サーチ] をタップします。



外側をタッチすると、早く動きます。
内側をタッチすると、ゆっくり動きます。

- ③ プリズムがロックされると
「サーチ完了」
と表示されます。
[閉じる] をタップします。



- ④ プリズムがロックされ追尾中の場合は、自動追尾のアイコンに「○」が表示されます。



プリズムがロックされると自動で観測が開始されます。
観測を停止する場合は、「連続停止」をタップします。
観測を再開する場合は、「連続開始」をタップします。

■ プリズムを誘導して杭打ちします

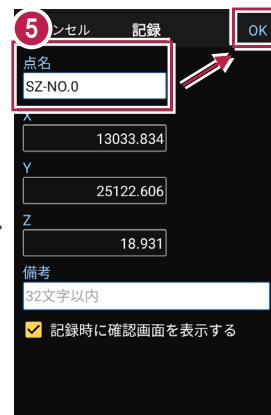
- ① [平面] で現在位置を確認しながら、設置位置の近くまで移動します。

現在位置が「赤丸」で表示されます。



- ② 設置位置の近くまで移動したら「誘導」をタップします。

- ③ 画面に従い、誘導して杭打ちします。



- ④ 杭打ちした座標点を記録する場合は、「打設」をタップします。

- ⑤ [点名] を入力し、[OK] をタップします。

自動観準の場合は

[リモコン] で器械をプリズム方向に向けてから [観測] をタップすると、自動観準して測定します。

誘導画面の表示について

プリズム（ミラー）と設置位置まで距離によって、誘導画面は以下のように切り替わります。

【5m以上】



【5m~1m】



【1m~0.1m】

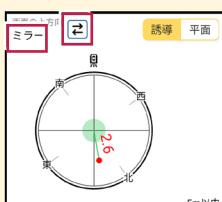


【0.1m以内】



誘導画面の向き（上方向）は、切り替え可能です。

【ミラー】



【コンパス】



【器械】



プリズム（ミラー） ⇒ 器械

端末のコンパスを利用

器械 ⇒ プリズム（ミラー）

背景に CAD 図面を表示するには

図面が取り込まれている場合は、[条件] で背景に表示する図面を選択できます。

測設や観測の「平面」表示では、画面上が北（0度）になるように、図面が回転します。



[選択] で図面を選択します。

キャンセル	図面一覧	選択
<input checked="" type="radio"/>	1[平面図]	
<input type="radio"/>	2[縦断図]	
<input type="radio"/>	3[横断図1]	

器械が「自動追尾」または「自動視準」の場合は、設置位置に器械を偏角できます

設置位置を指定した後【偏角】をタップすると、

計測点方向に器械が自動回転します。



器械が「手動」の場合は、設置位置までの「水平角」と「水平距離」を確認できます

設置位置を指定した後【距離角度】をタップすると、

設置位置までの「水平角」と「水平距離」が表示されます。



8-5 CAD図面上の点を測設する

CAD図面の端点や交点の位置に誘導して、杭打ちをおこないます。

■ 設置する座標点を選択します

- 1 ホーム画面の【測設】をタップします。



- 2 測設画面の【測設】の【座標】をタップします。



- 3 【図面】をタップして、設置する端点・交点をタップします。



■ プリズムをロックします（自動追尾の場合）

- ① [リモコン] をタップします。

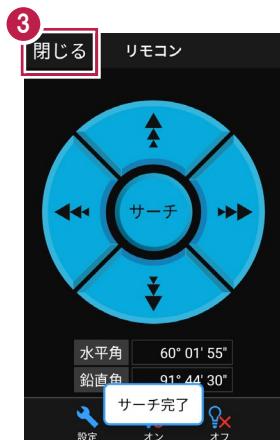


- ② リモコンで器械をプリズムの方向に向けてから
[サーチ] をタップします。



外側をタッチすると、早く動きます。
内側をタッチすると、ゆっくり動きます。

- ③ プリズムがロックされると
「サーチ完了」
と表示されます。
[閉じる] をタップします。



- ④ プリズムがロックされ追尾中の場合は、自動追尾のアイコンに「○」が表示されます。



プリズムがロックされると自動で観測が開始されます。
観測を停止する場合は、「連続停止」をタップします。
観測を再開する場合は、「連続開始」をタップします。

■ プリズムを誘導して杭打ちします

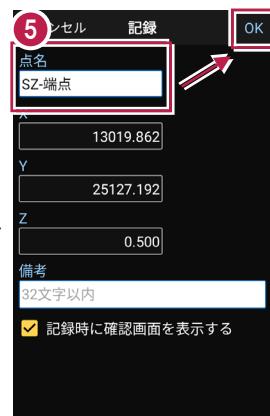
- ① [平面] で現在位置を確認しながら、設置位置の近くまで移動します。

現在位置が「赤丸」で表示されます。



- ② 設置位置の近くまで移動したら「誘導」をタップします。

- ③ 画面に従い、誘導して杭打ちします。



- ④ 杭打ちした座標点を記録する場合は、「打設」をタップします。

- ⑤ [点名] を入力し、[OK] をタップします。

自動観準の場合は

[リモコン] で器械をプリズム方向に向けてから [観測] をタップすると、自動観準して測定します。

器械が「自動追尾」または「自動視準」の場合は、設置位置に器械を偏角できます

設置位置を指定した後【偏角】をタップすると、

計測点方向に器械が自動回転します。



器械が「手動」の場合は、設置位置までの「水平角」と「水平距離」を確認できます

設置位置を指定した後【距離角度】をタップすると、

設置位置までの「水平角」と「水平距離」が表示されます。



8-6 路線の「線形」を利用した点を測設する

路線の線形のセンターの測点や幅杭の位置に誘導し、杭打ちをおこないます。

■ 設置する座標点を選択します

- 1 ホーム画面の【測設】をタップします。



- 2 測設画面の【測設】の【路線】をタップします。

- 3 [条件1] [条件2]で利用する線形の条件を設定します。

幅杭を設置する場合は、オフセットを【あり】にして、左右の幅と勾配を入力します。

範囲を指定する場合は、[条件1]で線形の開始点・終了点を指定することで、指定範囲外の測点を省くことができます。



④ [OK] をタップします。



⑤ [座標] をタップして、設置する座標点をタップします。



杭ピッチを指定して杭打ちする場合は

条件で「ピッチ」を選択し、杭の間隔を入力します。

●「プラス杭」の場合

ピッチを指定します。

オフセットはなしです。

●「側溝」などの場合

ピッチとオフセットを指定し、
オフセットした線をピッチ割
します。

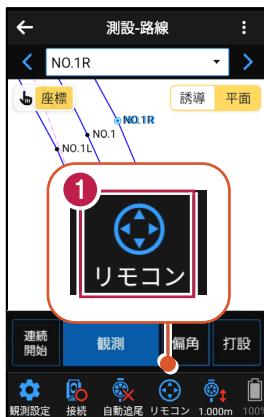
●「プラス杭の幅杭」の場合

ピッチとオフセットを指定し、
ピッチ割した線をオフセット
します。

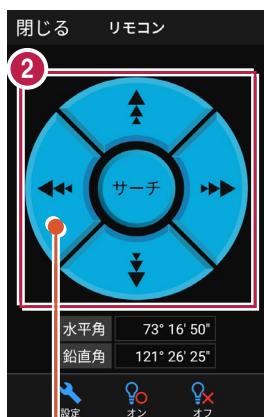


■ プリズムをロックします（自動追尾の場合）

- ① [リモコン] をタップします。

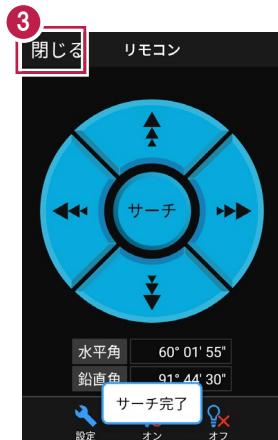


- ② リモコンで器械をプリズムの方向に向けてから
[サーチ] をタップします。



外側をタッチすると、早く動きます。
内側をタッチすると、ゆっくり動きます。

- ③ プリズムがロックされると
「サーチ完了」
と表示されます。
[閉じる] をタップします。



- ④ プリズムがロックされ追尾中の場合は、自動追尾のアイコンに「○」が表示されます。



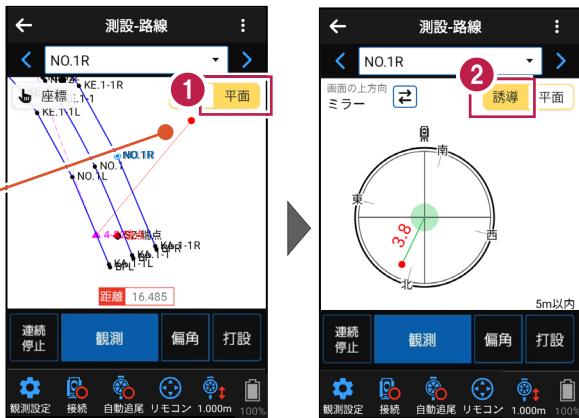
プリズムがロックされると自動で観測が開始されます。
観測を停止する場合は、[連続停止] をタップします。
観測を再開する場合は、[連続開始] をタップします。

■ プリズムを誘導して杭打ちします

- ① [平面] で現在位置を確認しながら、設置位置の近くまで移動します。

現在位置が「赤丸」で表示されます。

- ② 設置位置の近くまで移動したら【誘導】をタップします。



自動観準の場合は

[リモコン] で器械をプリズム方向に向けてから【観測】をタップすると、自動観準して測定します。

- ③ 画面に従い、誘導して杭打ちします。



- ④ 杭打ちした座標点を記録する場合は、[打設] をタップします。



- ⑤ 点名を入力し、[OK] をタップします。

誘導画面の表示について

プリズム（ミラー）と設置位置まで距離によって、誘導画面は以下のように切り替わります。

【5m以上】



【5m～1m】



【1m～0.1m】

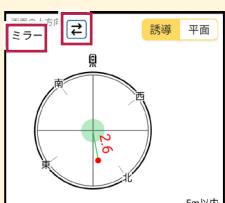


【0.1m以内】



誘導画面の向き（上方向）は、切り替え可能です。

【ミラー】



【コンパス】



【器械】



プリズム（ミラー） ⇒ 器械

端末のコンパスを利用

器械 ⇒ プリズム（ミラー）

器械が「自動追尾」または「自動視準」の場合は、設置位置に器械を偏角できます

設置位置を指定した後【偏角】をタップすると、
計測点方向に器械が自動回転します。



器械が「手動」の場合は、設置位置までの「水平角」と「水平距離」を確認できます

設置位置を指定した後【距離角度】をタップすると、
設置位置までの「水平角」と「水平距離」が表示されます。



8-7 路線の「測点」を利用した点を測設する

路線の「測点+単距離」または「追加距離」、「幅（オフセット）」を指定し、誘導と杭打ちをおこないます。

■ 設置する座標点を選択します

- ① ホーム画面の【測設】をタップします。



- ② 測設画面の【測設】の「路線（測点）」をタップします。



- ③ 【測点】をタップします。



- ④ 【測点】+【単距離】または【追加距離】、【オフセット】を入力して、測設位置を指定します。



⑤ [OK] をタップします。

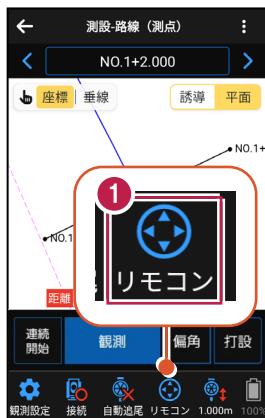


⑥ 設置する座標点をタップします。

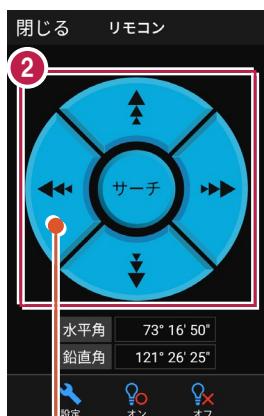


■ プリズムをロックします（自動追尾の場合）

- ① [リモコン] をタップします。

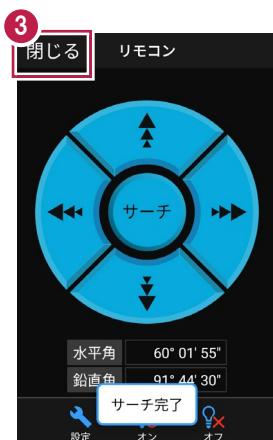


- ② リモコンで器械をプリズムの方向に向けてから
[サーチ] をタップします。



外側をタッチすると、早く動きます。
内側をタッチすると、ゆっくり動きます。

- ③ プリズムがロックされると
「サーチ完了」
と表示されます。
[閉じる] をタップします。



- ④ プリズムがロックされ追尾中の場合は、自動追尾のアイコンに「○」が表示されます。

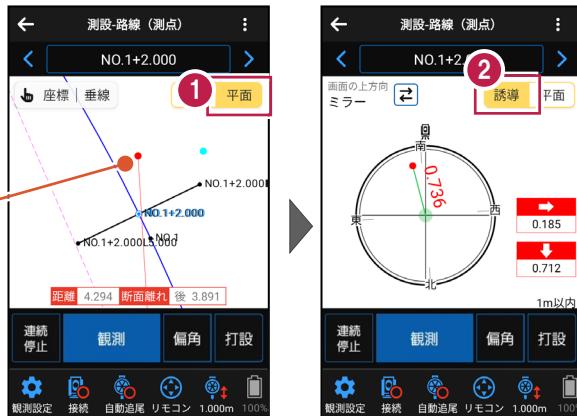


プリズムがロックされると自動で観測が開始されます。
観測を停止する場合は、[連続停止] をタップします。
観測を再開する場合は、[連続開始] をタップします。

■ プリズムを誘導して杭打ちします

- ① [平面] で現在位置を確認しながら、設置位置の近くまで移動します。

現在位置が「赤丸」で表示されます。



- ② 設置位置の近くまで移動したら [誘導] をタップします。

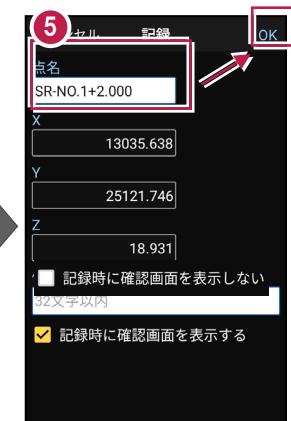
自動観準の場合は

[リモコン] で器械をプリズム方向に向けてから [測距] をタップすると、自動観準して測定します。

- ③ 画面に従い、誘導して杭打ちします。



- ④ 杭打ちした座標点を記録する場合は、[打設] をタップします。



- ⑤ 点名を入力し、[OK] をタップします。

誘導画面の表示について

プリズム（ミラー）と設置位置まで距離によって、誘導画面は以下のように切り替わります。

【5m以上】



【5m～1m】



【1m～0.1m】

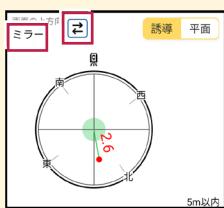


【0.1m以内】

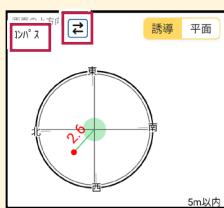


誘導画面の向き（上方向）は、切り替え可能です。

【ミラー】



【コンパス】



【器械】



プリズム（ミラー） ⇒ 器械

端末のコンパスを利用する

器械 ⇒ プリズム（ミラー）

器械が「自動追尾」または「自動視準」の場合は、設置位置に器械を偏角できます

設置位置を指定した後【偏角】をタップすると、

計測点方向に器械が自動回転します。



器械が「手動」の場合は、設置位置までの「水平角」と「水平距離」を確認できます

設置位置を指定した後【距離角度】をタップすると、

設置位置までの「水平角」と「水平距離」が表示されます。



8-8 検測をおこなう

杭打ちした点の検測をおこないます。

測設された座標が自動でセットされます。

- 1 ホーム画面の【測設】をタップします。



- 2 測設画面の【精度管理】の【検測】をタップします。



以降の手順は

【検測】と同様です。詳しくは「検測」を参照してください。